

平成30年度 重点事業

倉敷中央高等学校では、今年度4つの重点事業に取り組みました。

1 ティーチン倉敷中央による学びのネットワーク事業

本校生徒—教員だけでなく、同じ地域に住む中学生—高校生—大学生—保護者—社会人といった異年齢からなる集団による学びの場です。自ら考え、自ら判断し、行動していく態度を身につけます。



ファシリテーターの補助的な役割を本校生徒が担当し、留学生や老人会の方々や PTA の方々と交流しながら発表まで導きます。司会や説明用のプレゼンテーション資料も本校生徒が製作します。

「主権者とは何か」「私たちの理想のまちづくり」「中国人の高校生の修学旅行プラン考えましょう！」などの題目について話し合いました。

その他、台湾・中国観光客向けガイドペーパーの作成、地域で活躍する方に取材する「聞き書き」などにも取り組んでいます。

2 基礎学力定着事業

基礎学力の定着に向け、アクティブ・ラーニングの視点で授業改善の取組を行い、教員の授業力の更なる向上と、自ら進んで学習する生徒の育成を目指します。今年度は「協同学習」をテーマに、落ち着いた学習環境づくりと協同（仲間と共有した目標の達成に向け、仲間と心を合わせ、いまなすべきことを見つけ真剣に取り組む）による活動性の高い授業の推進に力を入れました。

7月と10月に久留米大学文学部安永悟教授をお招きし、教員研修を行いました。指導教諭による授業公開も実施しました。



3 高大連携推進事業

現在「吉備国際大学」「くらしき作陽大学」「倉敷芸術科学大学」と連携協定を結んでいます。また他にも県内大学に協力を要請し、連携事業を実施しています。

- 『くらしき作陽大学』との連携内容
 - ・普通科子どもコースの「子どものがたり」プログラムの推進
 - ・普通科類型、子どもコースの「ティーチン倉敷中央」推進と大学教職課程への協力
 - ・家政科の服飾分野、食物分野の専門技能伸長と進路学習への支援
 - 『倉敷芸術科学大学』との連携内容
 - ・普通科健康スポーツコースの実技研修
 - ・普通科創造文化系の大学訪問
 - 『岡山大学』との連携内容
 - ・「主権者教育」講演聴講
 - ・普通科文系・生物理系の大学訪問
 - ・普通科生物理系の生物分野の実技講習会受講
 - 『川崎医療福祉大学』との連携内容
 - ・普通科文系・生物理系の大学訪問
 - ・普通科健康スポーツコースの施設訪問
 - ・福祉科の施設訪問と大学教職課程への協力
 - 『環太平洋大学』との連携内容
 - ・普通科子どもコースと家政科の保育分野の講習会受講
- など

大学関連施設の見学、講演会や講習会への参加など、専門性を高める事業の計画的な実施が生徒の学習意欲を高め、進路意識の形成に役立っています。



健康スポーツコース体力測定



子どもコース大学訪問



家政科、子どもコース保育体験



普通科類型大学訪問



子どもコースこども園訪問



健康スポーツコーススポーツ栄養学

4 「中央夢プロジェクト～地域に生きる自分マネジメント～」

地域との積極的な交流を通し、地域社会における「課題」を自分の問題として捉え、主体的に考え、判断し、行動する力を身につけます。

1年では「地域研究－水島を知る－」として、水島の様々な側面を見学、2年では「地域交流－水島と関わる－」として、水島を中心に職場を訪問し、働く女性にインタビュー、3年「地域に生きる自分マネジメント」では、キャリア教育の集大成として地域でボランティアをしている人から教えを請い、自分に何ができるかを考えます。

1年「地域研究－水島を知る－」



2年「地域交流－水島と関わる－」



3年ボランティア体験学習

